

第2章 | 環境保全施策の推進

「目黒区環境基本計画」に掲げた5つの基本方針に沿って、2019（令和元）年度に実施した主な環境保全施策の内容について報告します。

基本方針1 省エネのまちづくり

地球温暖化対策を推進する

2019（令和元）年度の成果

- 二酸化炭素排出量は基準年度末実績値に対して2.4%減少、エネルギー消費量は14.9%減少しています。
- 「めぐろ笑エネトライ」及びめぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）の参加件数は、目標を達成できています。
- 住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成件数は減少しており、低炭素ライフスタイルへの転換の取組をより推進していく必要があります。
- 街路灯のLED化は着実に進んでおり、718灯をLED化しました。

指標の評価

😊：目標値を達成 😊：目標値に近づいている 😞：目標値に近づいていない —：現状値を把握していない

指標項目	基準年度	基準年度末時点実績値	2019（令和元）年度末実績値	目標	評価
成果指標					
省エネ行動に取り組んでいる人の割合	2016	81.7%	—※1	増加	—※1
関係計画に基づく成果指標					
二酸化炭素排出量※2	2010	1,087千t-CO ₂	1,061千t-CO ₂ (2017《平成29》年度実績値)※3	2010（平成22）年度を基準とし、区域全体で2014（平成26）～2020（令和2）年度間に毎年度1%以上、2020（令和2）年度において7%以上削減	😞
エネルギー消費量	2010	13,215TJ	11,243TJ (2017《平成29》年度実績値)※3	2020（令和2）年度において7%以上削減	😞
取組点検項目					
「めぐろ笑エネトライ」参加件数（☆）	2015	31件※4	38件	増加	😊
めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）参加件数（☆）	2010	23件※4	23件	増加	😞
住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成件数（☆）	2010	140件	129件	増加	😞
街路灯のLED化	2017	732灯	718灯	推進※5	😊
環境配慮型の道路整備	2017	保水性舗装 遮熱性舗装 10,122㎡	保水性舗装 754㎡	推進	😞

※1 本年度は区民に対する『環境に関するアンケート』を中止したため、現状値の把握ができませんでした。

※2 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）」では、「地球温暖化対策推進法」の対象である温室効果ガス（7種類）のうち、区の排出量の96%以上を占める「二酸化炭素」が対象。

※3 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）」の計画期間は、2020（令和2）年度まで。最新値は2017（平成29）年度の数値。出典：「特別区の温室効果ガス排出量〈1990《平成2》～2017《平成29》年度〉」オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」・2020（令和2）年3月発行

※4 めぐろ笑エネトライ及びめぐろグリーンアクションプログラムの参加件数については、実参加件数に統一して件数を算出しました。

※5 街路灯のLED化は、毎年度700灯の設置が目標。

施策の目標 1-1 低炭素のライフスタイルへの転換

● 省エネ・節電行動の推進

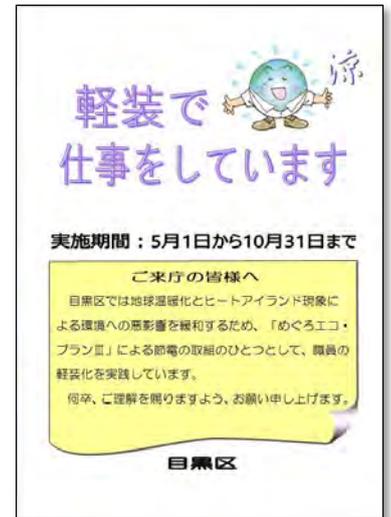
省エネ行動を推進するため、研修や啓発を行っています。区での取り組みとしては、区有施設における節電対策の一環として、5月1日から10月31日までの期間に、節電の取り組みを進めながら軽装で仕事を行う「節電ビズ」を実施しました。また、みんなで楽しく笑いながら省エネにトライする「めぐろ笑エネトライ^{しょう}」には、38人の区民の方が参加しました。

● 「めぐろスマートライフ」での情報発信

区では、エコライフめぐろ推進協会と連携・協力し、ホームページ「めぐろスマートライフ」を公開しています。

このホームページは、より快適で便利な、思わずトライしたくなるようなアイデアやコツなどの情報を発信し、めぐろスマートライフ（環境にやさしい行動を賢く選択できる暮らし方）を実践していくことで、低炭素社会の実現を目指すものです。

一方的な情報提供だけでなく、区民からもアイデアや体験談を募集し、双方向の発信を目指しています。



<節電行動の庁内周知用チラシ>



<めぐろスマートライフ ロゴ>



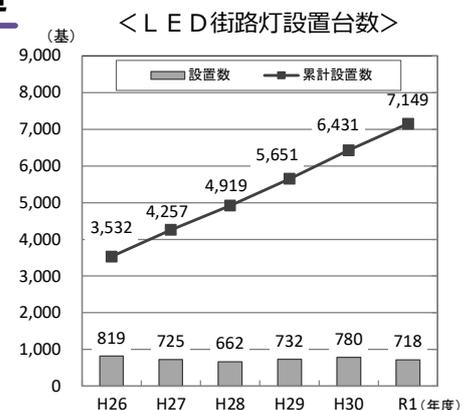
<めぐろスマートライフ QRコード>

施策の目標 1-2 エネルギーを賢く使う暮らしの創造

● 公共施設の低炭素化の推進

区有施設の改修・改築時に、省エネルギーに配慮した施設の整備を推進するため、区内の小中学校11校や中央体育館ほか9施設に、LED照明を導入しました。

また、交換時期にあわせてLEDの街路灯を718基設置し、合計で7,149基になりました。



施策の目標 1-3 気候変動への適応策の推進

● ヒートアイランド現象への対策（環境配慮型の道路整備）

ヒートアイランド対策の一環として、目黒川沿いのエリアにおいて、保水性舗装を754㎡整備し、環境配慮型の道路整備を行いました。



<保水性舗装した道路>

ものを大切にして循環型社会を実現する

2019（令和元）年度の成果

- 1人1日当たりごみ量は、基準年度末時点実績値から33g減少し、目標値に近づいています。これに対し、リサイクル率は、基準年度末時点実績値から2.2ポイント減少しています。その理由は、資源である古紙の回収量が減少しているためと考えられます。
- 子どもたちへの環境学習実施回数については、区内の保育園や小学校などで資源やごみの適正排出やごみの減量に関する環境学習を34回実施し、現状を維持しています。
- 資源回収量については、基準年度末時点実績値より減少しており、再生利用可能な資源の分別、集団回収などの取組をさらに進めていくことが必要です。
- ごみの適正処理の推進に向けた、事業用大規模建築物の排出指導については、基準年度末時点の実績値を上回る18回を実施しました。

指標の評価

😊：目標値を達成 😊：目標値に近づいている 😞：目標値に近づいていない —：現状値を把握していない

指標項目	基準年度	基準年度末時点実績値	2019（令和元）年度末実績値	目標	評価
成果指標					
ものを大切にする行動を行っている人の割合	2016	91.8%	—※1	増加	—※1
関係計画に基づく成果指標※2					
1人1日当たりごみ量	2014	549g	516g	451g 2025（令和7）年度まで	😞
リサイクル率	2014	27.5%	25.3%	31.7% 2025（令和7）年度まで	😞
取組点検項目					
子どもたちへの環境学習※3実施回数（☆）	2017	31回	34回	現状維持	😊
資源回収量（☆）	2014	20,490t	17,977t	増加	😞
事業用大規模建築物の排出指導	2016	11回	18回	現状維持	😊

※1 本年度は区民に対する『環境に関するアンケート』を中止したため、現状値の把握ができませんでした。

※2 「目黒区一般廃棄物処理基本計画」で定められている指標。

※3 子どもを対象に、資源やごみの適正排出について、スケルトン清掃車やパネルなどを活用しながら清掃事務所で行う事業。

施策の目標 2-1 ごみをつくり出さない意識の醸成

● 環境学習の実施

子どもたちや周囲の大人たちが資源とごみの適正排出やごみの減量について興味を持ち、日々の生活の中で実践していくことを目的に、ごみ減量キャラクター、紙芝居、パネルなどを活用した環境学習を実施しています。

2019（令和元）年度は、保育園、幼稚園、小学校などで、環境学習を34回実施しました。



＜ごみ減量キャラクターを活用した環境学習＞

● 「めぐろ買い物ルール」普及啓発・取組支援

「めぐろ買い物ルール」は、ごみをなるべく出さない賢い買い物（スマートショッピング）を区内に広めるための、リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、食品ロス削減につながる区民・事業者共通のルールです。

「めぐろ買い物ルール」の取組を推進する店舗などを「めぐろ買い物ルール参加店」として登録し、その取組を紹介することにより、ルールの推進及び区民への意識啓発を図りました。また、「めぐろ買い物ルールを広める会」と連携してイベントを行いました。



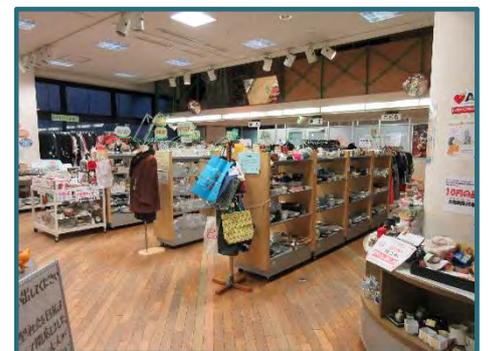
施策の目標 2-2 ごみの減量と資源化の推進

● 食品ロス削減の推進

2019（令和元）年度から新しく「食べきり協力店制度」を導入するとともに、フードドライブを実施し、食品ロス削減対策の強化を図りました。また、食べ残しを減らすため、宴会の開始後30分と終了前10分は自分の席で食事を楽しむ「3010運動」について、区報、ホームページ、パンフレットなどで紹介し、店舗用卓上案内の配布を行いました。

● 3Rによるごみ減量の推進

3Rによるごみ減量の推進に当たり、目黒区エコプラザのリサイクルショップでは、特にリデュース・リユースの提唱と発信を行っています。目黒区エコプラザなどでリサイクル着物のセールを行った他、目黒区エコプラザから離れた地域で寄付品回収を行い、リサイクルショップのPRに努めました。



＜目黒区エコプラザのリサイクルショップ＞

施策の目標 2-3 ごみの適正処理の推進

● ごみの分別ルールの徹底

ごみの分別ルールの徹底を図るため、排出ルールが守られないなど、課題のある集積所に対して、必要に応じて回収の都度、ごみの適正な排出指導や集積所の改善についての相談を実施しました。また、不法投棄を予防するため、集積所などに警告ポスターを掲示しました。

みどりをはぐくみエコロジカルネットワークを形成する

2019（令和元）年度の成果

- 公園・ひろば等の面積は、人口増に伴い減少となっています。
- 保存樹木本数・保存樹林面積は、保存樹木、生け垣の新規指定があり、増加しました。
- 屋上緑化・壁面緑化助成面積・接道部緑化助成延長、野鳥の年間観察種数は、基準年度末実績値よりも増加しました。
- いきもの气象台情報提供数については、2017（平成29）年度末実績値よりも減少しました。

指標の評価

😊：目標値を達成 😊：目標値に近づいている 😞：目標値に近づいていない —：現状値を把握していない

指標項目	基準年度	基準年度末 時点実績値	2019（令和元） 年度末実績値	目標	評価
成果指標					
みどり豊かで魅力的なまち であるとを感じる人の割合	2016	69.8%	—※1	増加	—※1
取組点検項目					
公園・ひろば等の面積	2015	1.80㎡/人	1.73㎡/人	増加	😞
保存樹木本数・ 保存樹林面積（☆）	2014	樹木 119件 521本	樹木 244件 667本	増加	😊
		樹林 26件 85,605.63㎡	樹林 26件 83,535.63㎡		
		生け垣 63件 2,527.9m	生け垣 70件 2,709.20m		
屋上緑化・壁面緑化助成面 積・接道部緑化助成延長（☆）	2017	屋上・壁面 5,491.65㎡	屋上・壁面 5,503.18㎡	増加	😊
		接道部 10,604.29m	接道部 11,030.46m		
いきもの气象台情報提供数 （1～12月）（☆）	2017	2,953件	2,787件	増加	😞
野鳥の年間確認種数 （☆）※2	2013	52種	54種	増加※3	😊

※1 本年度は区民に対する『環境に関するアンケート』を中止したため、現状値の把握ができませんでした。

※2 1～12月での累計。

※3 50種を維持し、70種を目指します。

施策の目標 3-1 拠点となるみどりの保全と創出

● 公園・緑地の確保と質の向上

身近な公園・緑地の量的な確保のために、本町五丁目西街かど公園整備工事を実施しました。

公園の管理には、住民ボランティアが関わり、花壇、雑木林、土壌、生物の生息環境の向上に寄与する質の高い公園管理を目指し、7つの公園で18団体が住民参加による公園管理を行いました。



<住民参加による公園管理>

施策の目標 3-2 身近なみどりの保全と創出

● 住宅地のみどりの保全

区では、一定規模以上の大きさの樹木、生け垣、樹林を保存樹木などとして指定し、維持管理費用の一部を助成しています。2012（平成24）年度から休止していた新規指定を2015（平成27）年度から再開し、総数は763件となりました。

<保存樹木などの指定状況>

種別	指定対象	指定数
保存樹木	幹周りが80cm以上又は高さが15m以上ある樹木	667本
保存生け垣	高さが0.9m以上で長さが20m以上ある生け垣	70件
保存樹林	300㎡以上の樹林地	26件

● 民有建物における緑化の推進・支援

区全体の面積の約7割は、民有地です。区では、民有建物における緑化（屋上、壁面、接道部など）を支援するため、「みどりのまちなみ助成」を実施しています。

<みどりのまちなみ助成の種別・対象と助成の実績>

種別	助成の実績（面積・延長）	
	2019 （令和元）年度	累計
接道緑化 （道路沿い緑化）	254.34 m	11,030.46 m
屋上緑化 （バルコニー緑化を含む。）	11.53 ㎡	5,014.93 ㎡
壁面緑化	0 ㎡	488.25 ㎡



<道路沿い緑化の例>

施策の目標 3-3 都市の生物多様性の確保

● 区内の自然・いきものを学ぶ機会の提供

雑木林の管理作業や自然観察を通じて自然保護意識の向上を図ることを目的に、自然クラブの開催や駒場野公園内の自然観察舎を利用した体験型自然学習の推進を図っています。

2019（令和元）年度は、自然クラブを21回開催し、887人の参加がありました。また、自然観察舎は13,272人の利用がありました。

健康で快適に暮らせる生活環境を確保する

2019（令和元）年度の成果

- 大気（大気汚染常時監視）、水（目黒川）、自動車騒音（常時監視）の環境基準達成率は、目標を達成できませんでした。
- 犬のふん尿等に関する苦情件数は、基準年度末実績値より約4割増加しており、飼い主への普及啓発が必要です。
- ポイ捨てキャンペーンへの参加者は、基準年度末実績値より減少しており、参加促進に向けた取組が必要です。
- 犬の飼い方セミナーへの参加者数は、基準年度末実績値より約2倍増加しました。

指標の評価

😊: 目標値を達成 😊: 目標値に近づいている 😞: 目標値に近づいていない —: 現状値を把握していない

指標項目	基準年度	基準年度末 時点実績値	2019（令和元） 年度末実績値	目標	評価
成果指標					
住み心地よいと感じている人の割合	2016	58.0%	—※1	増加	—※1
取組点検項目					
大気環境基準達成率※2 （大気汚染常時監視）	2010	光化学オキシダント 非達成	光化学オキシダント 非達成	環境基準の 達成※3	😞
大気環境基準達成率 （沿道の窒素酸化物※4濃度）	2010	全地点達成	全地点達成	全地点達成※5	😊
水環境基準達成率 （目黒川）	2010	BOD※6 1地点で4回中、 1回非達成	BOD 1地点で4回中、 1回非達成	全回達成※7	😞
自動車騒音環境基準達成率 （常時監視）		—	6地点中、 昼間5地点、 夜間1地点で達成	全6地点での 環境基準の 達成※8	😞
工場、指定作業場の 監視件数	2017	工場 20件 指定作業場 4件	工場 6件 指定作業場 3件	増加	😞
犬のふん尿等に関する 苦情件数	2016	80件	115件	減少	😞
キャンペーン・セミナー参加 者人数（ポイ捨てキャンペーン）（☆）	2010	57人	46人	増加	😞
キャンペーン・セミナー参加 者人数（犬の飼い方セミナー）（☆）	2016	27人	57人	増加	😊

※1 本年度は区民に対する『環境に関するアンケート』を中止したため、現状値の把握ができませんでした。

※2 ここでいう「環境基準達成率」とは、それぞれの指標項目で設定した目標への到達度合いのことを指します。

※3 東山中学校屋上で行っている大気汚染の常時監視項目の全項目が環境基準を達成していること。

※4 燃料中や空気中の窒素が燃焼して酸化することにより生成されます。健康影響のほか、光化学オキシダントの原因物質のひとつ。

※5 対象道路沿道での窒素酸化物濃度の測定期間中（20日間）の平均値が、全地点（8地点）で環境基準値を満たしていること。

※6 BOD（生物化学的酸素要求量）：河川の水質を表す指標のひとつで、水中の微生物が有機物を酸化・分解するときに消費する酸素の量を示しています。BOD値が大きいほど汚濁物質（有機物）が多く、水の汚濁が進んでいるといえます。

※7 目黒川での水質測定の結果が、全地点（3地点）、全回（年4回）で環境基準値を満たしていること。

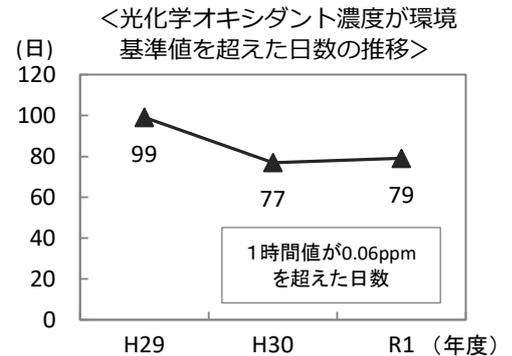
※8 「国土交通省平成27年度道路交通センサス」（22区間）を対象に実施する交通騒音測定（面的評価調査）結果が環境基準を達成すること。単年度の測定は、全22区間から偏りのないよう計画的に6区間（地点）を選定して実施しています。

施策の目標 4-1 大気・水・土壌環境の保全

●大気環境の監視・情報提供

区では、東山中学校屋上に大気汚染測定室を設け、毎年、環境測定を実施しています。測定の結果、光化学オキシダントは、基準を達成しませんでした。

また、幹線沿道における窒素酸化物濃度調査を4回（各回平日5日間連続測定）行った結果、測定期間中、環境基準を超過した日はありませんでした。



●河川環境の改善

河川の水質改善や臭気抑制を目的として、目黒川では、河川・水面の清掃、河床整正・浚渫、住民と行政が連携した大規模な清掃活動である「目黒川クリーンアップ大作戦」の実施などに取り組みました。また、呑川でも河川・水面の清掃に取り組みました。



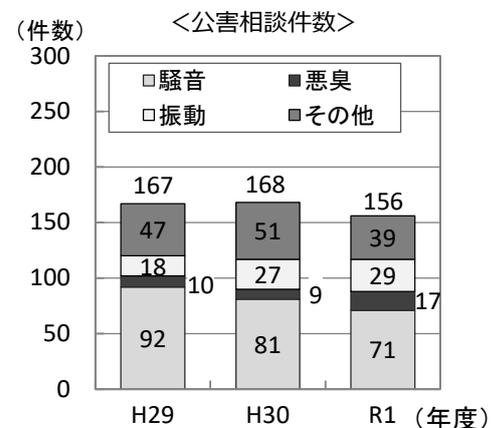
＜目黒川クリーンアップ大作戦＞

施策の目標 4-2 身近な環境問題への対応

●生活公害（騒音・振動・悪臭等）に係る相談・調整

近年の公害相談は、騒音・振動、悪臭など典型7公害のほか、アスベスト被害に対する不安や一般生活苦情（空き地の雑草、落ち葉）など多岐にわたっており、解決までに時間を要する困難な案件も増加しています。

2019（令和元）年度の公害相談件数は、156件でした。



施策の目標 4-3 住み心地のよい生活環境の確保

●地域美化活動支援

まちの美化活動に対する支援として、スイーパーズの事務局運営、連絡会の開催などを行いました。

中目黒スイーパーズの活動実績として、1,340回、延べ7,752人が清掃活動に参加しました。

区では、環境美化推進団体にトンブやガム取り棒など清掃用具の貸出しや啓発品を提供するとともに、落書き消去剤の貸出しを2件行いました。落書き防止対策を実施するための経費の補助申請はありませんでした。

＜中目黒スイーパーズ ロゴ＞



＜スイーパーズ活動＞

環境を守りはぐくむ人を育てる

2019（令和元）年度の成果

- 出前講座実施回数については、小学校における出前講座は減少したものの、その他の出前講座が増え、基準年度末実績を上回りました。
- 環境配慮活動団体数について、環境に取り組む団体が着実に増加しています。
- 環境推進員ステップアップ講座・交流会参加者数については、参加者が20人となり基準年度末実績値と同水準でした。

指標の評価

😊：目標値を達成 😊：目標値に近づいている 😞：目標値に近づいていない —：現状値を把握していない

指標項目	基準年度	基準年度末 時点実績値	2019（令和元） 年度末実績値	目標	評価
成果指標					
環境保全に関する取組に参加 してみたい又は参加したこと がある人の割合	2016	14.4%	—※1	増加	—※1
取組点検項目					
出前講座実施回数（☆）	2010	小学校出前講座 15校794人	小中学校出前講座 10回573人 学童保育クラブ 出前講座※2 3回114人 その他出前講座 2回330人	増加	😊
		子育てママの エコ入門 10組20人	子育てママの エコ入門 316人		😊
環境配慮活動団体数 （目黒区エコプラザ支援団 体）（☆）	2010	8団体	10団体	増加	😊
環境配慮活動団体数 （スイーパーズ活動団体） （☆）	2010	32団体	35団体	増加	😊
環境配慮活動団体数 （グリーンクラブ、公園活動 登録団体の合計数）（☆）	2014	107団体	116団体	増加	😊
環境推進員ステップアップ 講座・交流会参加者数（☆）	2010	20人	20人	増加	😞

※1 本年度は区民に対する『環境に関するアンケート』を中止したため、現状値の把握ができませんでした。

※2 学童保育クラブ出前講座は、2019（令和元）年度から新たに実施。

施策の目標 5-1 環境教育・学習の機会の充実

●エコプラザを活用した環境学習

環境に配慮した生活を提案するため、身近な体験を通して楽しく学べる、さまざまなテーマの講座・講習会を目黒区エコプラザで開催し、参加人数は合計で3,068人でした。

●多様な媒体を活用した環境情報の発信力の強化

6月の環境月間に、総合庁舎本館西口ロビーで環境パネル展を開催し、省エネ活動・ポイ捨て防止の啓発をするとともに、環境推進員などを紹介しました。

また、エコプラザだよりの発行（計12回）など、広報の充実に努め、目黒区エコプラザの利用促進を図りました。なお、さまざまな機会、媒体を活用し環境情報の発信力を高めました。



<修理コツコツ講座（壁紙の補修）>

<目黒区エコプラザの利用状況>

利用項目	登録人数 / 利用件数
新規利用登録人数	133人
活動室利用件数	392件
図書貸出し件数	262件

施策の目標 5-2 環境保全活動の推進

●めぐろエコサポーター制度登録者への活動支援

環境推進員養成講座第12期修了生にエコサポーター制度を案内し、9人が登録しました。登録者は、過年度修了生1人の登録もあり、昨年度末で110人となっています。毎月エコサポーターに情報提供を行い、登録者が自主活動を行えるよう支援しています。

施策の目標 5-3 ネットワークの形成

●地域の環境保全活動の普及および参加促進

2019（令和元）年12月8日（日）に、エコライフめぐろ推進協会と共催で、「エコまつり🍃めぐろ2019」を開催しました。

また、地域の環境保全活動の活性化につなげるため、幅広い環境活動に継続して取り組む区民・団体・事業者を顕彰する「エコ・チャレンジ顕彰」では、1団体を顕彰しました。



<エコまつり🍃めぐろ2019>

●他地域との連携による取組の推進

「めぐろエコの森」は、地球温暖化対策に係るカーボン・オフセットを展望した事業の一つとして、2010（平成22）年度に友好都市である宮城県角田市の四方山^{しほうざん}の一角に創設しました。2019（令和元）年度は、植樹した樹木を生育させるため、生育の支障となる下草などの刈り払いを実施するとともに、獣類による被害を防止するための忌避剤散布を行いました。



<めぐろエコの森>